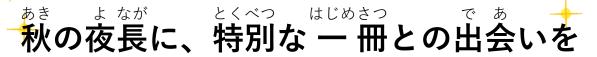


としょかんだより

令和7年10月

第5号

牡丹山小学校図書館



タ暮れが早くなり夜の時間が長くなるこの時期は、読書にぴったりの季節です。

ちょうど10月27日から11月9日は「読書週間」です。

^{ことし ひょう ご} 今年の標語は「**こころとあたまの、深呼吸。**」。 ^{ひょう ご かんが さくしゃ} この標語を考えた作者のことばを紹介します。

『めまぐるしい日常に息が詰まるとき、私は本を開きます。 心が震え、ため息をつく。ハッと気がつき、息をのむ。 ひと息ついて、まためくる。そうしてこころとあたまに 酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いでいける気がします。』



こんげつ **今月のテーマ「あたらしい発見がある本** 」

『みにくいおひめさま』

フィリス=マッギンリー/作,中川 宗弥/絵,本の番号:933 ま



ある王国に、なんでももってる王女がいました。 ただひとつ たりないのは、「うつくしさ」だけでした。

ある日、王さまが「王女をうつくしくすることができたものに $\frac{1}{2}$ 金をやる」とおふれを出し、魔法使いがやってくることを期待しましたが、やってきたのはふつうの女の人…。

《ろ おうじ 『黒ねこの王子カーボネル』

ジェームズ・サーバー/作,ルイス・スロボドキン/絵,本の番号:933 さ



10才の女の子ロージーは魔女から魔法のほうきと黒ネコを買いました。ところがそのネコはなんと魔法でどれいにされたネコの国の王子さまだったのです!ロージーは友だちとしますが、、、。

『うそつきの天才』

* ひしき ぁきこ ゃく ほん ばんごう ウルフ・スタルク/作,菱木 晃子/訳,本の番号:949 す



楽しんでくださいね。

「13歳にしてはうそをつくのがうまい」と、自分で言っているウルフ。親にもうそをつきまくり、学校では優等生だと親に信じ込ませていたが、ある日、そのうそがばれてしまう。こんなどうしようもないウルフだが、その飛びぬけたうそつきの才能と努力によって、すばらしい力を発揮することになる。いったいどんな力なのかは読んでからのお楽しみ。

保護者向け

としょかんだより



海外でも「読書週間」はあるの?

この時期になると、書店や公共図書館で目にする「読書週間」の文字。「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもとに(公益社団法人 読書運動推進協議会 HPより)開催されているこの取組は、日本だけのものではありません。

イギリスやオランダ、ニュージランドやオーストラリアなどの国でも秋になると「BOOK WEEK」という名称で、学校や書店などで本に関するイベントが行われます。テーマソングが登場したり、クイズやダンスをしたりして楽しむそうです。なかでも子どもたちの一番のお楽しみは、好きな本のキャラクターに仮装すること。なんと、仮装して登校する日もあるそう!学校の中にハリーポッターやウォーリー、マドレーヌちゃんがいるなんて、日本・では考えられませんが、とても楽しそうです。学校での読書週間は 12 月になりましたが、全国の読書週間をぜひ家族で